

# 令和7年度 十日町市立下条小学校 グランドデザイン

〈教育目標〉

やさしく かしく たくましく

〈下条(中学校区)が目指す子どもの姿〉  
気づき、考え、行動する子ども

〈スローガン〉

瞳きらきら にこにこ笑顔



	まなび ＜知育＞	こころ ＜徳育＞	からだ ＜体育・基本的生活習慣＞	ふるさと ＜郷土愛＞
重点	●意欲的に自分の考えを伝え、学びを深める子の育成	●相手の気持ちを認め、進んで行動する子の育成	●進んで運動や健康増進に取り組む子の育成	●地域の魅力を知り、誇りをもって発信する子の育成
目指す子どもの姿(目標)	◆自分の考えを明確にもち、伝え合いを通して他の考えを基に、さらに学びを深める子 ＜90%以上＞ ◆国語・社会・算数・理科の単元テストで正答率8割を上回る子＜国・算70%, 社・理65%以上＞ ◆カードを活用した家庭学習・読書活動・音読に継続的に取り組む子＜90%以上＞	◆学校が楽しく、好きな子 ＜90%以上＞ ◆相手の目を見て、気持ちが通じる挨拶・返事ができる子 ＜90%以上＞ ◆思いやりの気持ちをもち、自他の努力やよさを認められる子＜90%以上＞	◆体力・技能の向上を実感する子 ＜95%以上＞ ◆体を動かす楽しさを感じ、運動に意欲的に取り組む子 ＜95%以上＞ ◆健康の保持・増進に取り組む子 ＜90%以上＞	◆ふるさと下条地区や十日町市のよさが分かる子 ＜90%以上＞ ◆自分の課題を見つけ、追究しようとする子 ＜95%以上＞ ◆将来の夢や希望をもてる子 ＜90%以上＞
教育活動	○効果的な伝え合い活動の場の設定 ○基礎基本となる学力の定着を図る取組 ○家庭学習の取組への働きかけ「下条っ子の家庭学習(宿題+自主学習)」	○互いの努力やよさを認め合う活動 ○思いやりのある言葉づかいの振り返り活動 ○挨拶運動の取組	○体力・技能向上のための取組 ○運動意欲を高める授業の展開と評価の工夫 ○健康課題(生活リズム・メディア等)に関する強調週間の設定	○生活科や総合的な学習の時間を中心に地域のよさを学ぶ活動、発信する活動 ○課題の自己選択・決定の場面を意図的に設定した活動
方策	○「自分の考えをもち、進んで伝え合い、学びを深める児童の育成」をテーマにした校内研修の推進 ○学力向上を図った授業改善の取組 ○家庭学習に関する情報交換	○さらにカード等を活用した「互いの認め合い」の場の設定 ○全教育活動を通して自己有用感と思いやりの心の育成 ○挨拶・返事の継続的な指導	○運動カードによる見取りと声掛け ○意欲が継続するような評価方法の工夫 ○生活リズムやメディアに関する保健指導や保護者との連携	○関係機関と連携し、地域の「ひと・もの・こと」を題材とした、教材化の推進 ○「下条小地域人材バンク」の整備・活用の推進 ○活動の蓄積とそれを活用した振り返りの設定
連携	○学習ボランティアの活用 ○体験活動の充実 ○家庭と連携した家庭学習・音読の取組	○人権教育、同和教育の授業の保護者への公開と懇談会の実施 ○園児、中学生との交流	○地域スポーツ関係団体及びボランティアとの連携 ○家庭や園・中、下条エコメディア協議会との連携 ○栄養教諭による食育	○コミュニティ・スクールの充実と連携 ○十日町市博物館等との連携 ○下条地区振興会・下条公民館との連携 ○農業、漁業団体との連携

教育活動の基盤づくり ・安心・安全な学校、居心地のよい学級づくり  
・いじめ・不登校の未然防止と即時対応  
・特別支援教育の充実

〈下条中学校区の特徴〉

- ・校舎併設の特性を生かした細やかな指導実践
- ・園・小・中のつながりを意識した教育実践
- ・地域の教育力を生かした教育活動の推進
- ・「キャリア教育」「道徳教育(人権教育、同和教育)」を基盤とした教育の実施

